



鶏けいめいめい鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

聖書の言葉

「そのあなたが御心に留めてくださるとは人間は何ものなのでしょう」

聖書(詩編第8編5節)

牧師 河合裕志

ここで「あなた」とは「主・神」のこと。このすぐ前、4節にこうある。「あなたの天を、あなたの指の業^{わざ}をわたしは仰ぎます。月も、星も、あなたが配置なさったもの」。ここには創造者なる神のことが歌われている。神がその指で月も星も配置なさった、と。

配置、これは普段私達も心がけているところ。この椅子、机、鏡はどこに置いたら、部屋が広く使えるか、機能的になるか、美しくなるか。あるいは適材適所といったことで人の配置を考える。

今、神はこれを考えて月、星を配置すると。これはしかし壮大な配置。地球は太陽系に属し太陽より3つ目の軌道を回っている。この位置が生物、人間が住むには丁度いいみたい。極端に暑くもなく寒くもなく。この太陽系が銀河系にはいくつもあり、そして銀河系はこの広い宇宙に沢山あるという。まるで目もくらむばかり。哲学者のカントはこの星の輝く空に感嘆している。私達もそんな思いにさそわれる時がある。

この大きな宇宙を造った神が人間を御心に留めてくださるとは、とって詩人は感嘆の声を上げている。誠にちっぽけな、ちっぽけな人間存在、無きに等しいようなもの。しかし神は全被造物の中でも

特別に目をかけておられる、心にかけている、これが人間。どの程度に神は人を心に留めているか。次の節にこうある。

「神にわずかに劣るものとして人を造り、なお栄光と威光を冠としていただきせ、御手によって造られたものをすべて治めるようにその足もとに置かれました」。神にわずかに劣る、とはよく言ったもの。人間ってそんなに偉い存在なの？ 神の持つべき栄光と威光(榮譽)を冠として与えていると、そんなに人間は優秀なの？ これは人間をほめ過ぎているんじゃない？ 全くそうとしか思えない。そこには神の期待というものがあるんだろう。

人間よ、しっかりと地球を治めるように。羊や牛、空の鳥、海の魚...生物をよく管理・保護するように。美しい自然を美しいままに保全するように。こうした責務が人間には委ねられているということ。人間には本来こうした高い能力が与えられているということなんだろう。神は人間、私達一人一人を御心に留めている。その意志に沿って歩む者となるように期待を寄せている。どうすれば御心を喜ばすことになるのかを考えながら生きることが出来れば幸い。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

中高青年会：日曜日礼拝後

聖書を学び祈る会：水曜日午前10時

牧師面談：水曜日午後1時～7時